成した場合、増員した教員度から40人以下の学級を編議員(文部科学省は、来年

取り組んでまいります。められれば、本市としても

学校選択制は慎重に

市民が自ら意欲を喚

教育部長

、市民参加の講座内長 市民ニーズを把

**備を行ってまいります。** 利用の促進に向けた道路整

する方針を明らかにした。 の給与を国庫負担の対象と

戸田市でも少人数学級を

市教育委員会は、平

の充実で、 営を委託し、雇用創出し、 のまちづくりに参加してい ジネスや懇話会などで、市 再開発的なリカレント教育 起し学ぶ講座を考え、議員(市民が自ら意欲 ただくようにできないか。 拠点として、 コミュニティビ 図書館の運 能力

えすることで、生涯学習セ 経費を削減する等工夫を重 発展するものにできないか。 ねて、支出を最小限に衣替 ンターから戸田市民大学へ

通ルー を伴い、まちづくりの視点道路や駐輪場など環境整備 健康にも役立つ自転車は交 で本市は対策しているか。 規則の周知徹底や安全対策、 歩行者と共存すべきである。 ルやマナーを守り

ないようにします。 交通法を遵守する を活発化し、道路 者との事故が起き よう指導し、歩行 生徒にも啓発活動 民を初め児童・

りながら、自転車 連部署と連携を図 都市整備部長 関



か。 るが、学校の状況に基づい や校舎の築年数に関係なく、 費の修繕費は、学校の規模 た予算を組むべきではない 一律148万円になってい 小中学校の施設管理

で活力あるまちづくり

の範囲内で一任し、 に支障を来さないよう、迅場状況を確認し、学校運営 要する修繕については、現 各学校の配当予算 緊急を

教育部長 軽易な修繕につ

## 小中学校の修繕費 備品費の贈額を

市民の通報

久晴 議員

▲校庭で遊ぶ生徒達

資源ごみは収益に寄 市民に還元されて

望してまいります。 を目指し、必要な予算は要 速な対応を図っています。 よりよい教育環境の充実

ている。逆回りの運行も検しづらい、「不便」、「利用しづらい」、「逆回りも運行しづらい」、「逆回りも運行ないために、「不便」、「利用ないるが、一方向回りしかなって、市民から歓迎されなって、市民から歓迎され

っている。児童・生徒の増年前と比べると30%以上減 のではないか。 加に見合った措置が必要な 増えているが、 児童・生徒が大幅に 備品費は5

討すべきではないか。

あり、学校備品は載った、減っているのは特別備品で 教育部長 学校備品と特別備品があり、 ないと思います。 ないので、授業等に支障は 備品購入費には

の逆回りの運行を コミュニティバス

全市的に運行されるように 議員 コミュニティバスが

西循環及び美笹循環については、事業収支の面から見ると、料金収入と運行経費の差が膨大になると考えられるので、現状での両方 めないことによる事業収支利用者の大きな増加は見込 拡大は避けたいと考えます。 運行経費の増加の割には、 が比較的少ない点、

の点から、現状の収支差の いては一周33分で、 総合政策部長 東循環につ 時間差 また、

## 容の選定と実施を行うとと握の上、市民参加の講座内 安全な市内移動を を研究してまいります ていただき、生涯学習セン どでまちづくりにも参加し もに、ITボランティアな 市民生活部長 ターから市民大学への展開 マナーを守って自転車に 指すとともに、 環境への負荷軽減、 [転車での 与し、 議員 追尾しています Ø 収や、早期回収など実効性 を設置しての拠点による回 法収集業者を発見・指導・ 協力やパトロールにより不 態度で臨み、窃盗罪としてる。持ち去りには断固たる もに、町会会館等に収集箱 市民生活部長 取り締まるべきだが対策は 罰則を伴う条例改正とと 資源ごみは市の所有物 高い対策を検討してまい

▲パソコン教室(福祉青少年会館)

いただく期間と `^^` っ 開等で各学校の特長を理解ました。来年度は、学校公

郁子 議員

と思います。 合的に考えたい

試算を含めて総するに当たり、福祉部長 検討

きである。 敗に終わっている。実施に学校格差が広がるなどで失 当たっては、 よるいじめ・ ランドでは、 択制を導入したニュージー 1984年に学校選 自殺の増加や 学校間競争に 慎重を期すべ

通級教室の設置を L\*1 D・ADHD等の

乳幼児医療費の

はないか。

制裁措置に、

助金を削る国の た自治体への補 口払いを廃止し

議をするべきで

で、他の学年への拡大が認教職員配置基準の通知の中

教育長 来年度、県費負担

拡大するよう検討すべきで の38人学級を他の学年にも 実施し、来年度は、県実施

ことで検討を進めているが、 に学校選択制の導入をする 成17年度から中学校を対象

基本理念、

無別心制度改善へ具体的な一歩を

要望したり、窓県へ制度改善を

えは。市として、

市長の考

構想を伺いたい 検討経過と目的、

その後の取り組み状

況議は。員

況を参考に、17年度から中制を導入している近隣の状から必要性を判断し、選択

校の特色化、

活性化の観点

保護者の意向の尊重や各学 びたいという児童・生徒

特色ある学校を選

学校の学校選択制を決定し

教育長

把握し、 年・15年は実態 すが、教員の養 討を重ねていま 設置について検 通級指導教室の 同時に

人数学級でゆとりを

的に判断して検討します。 全体や財政負担など、総合

通し等課題があ 教室の継続の見 成、教室の確保、

引き続き検

に当たり、具体的に費用の考えは前進したのか。検討「現状維持」であったが、 試算をするべきではないか。に当たり、具体的に費用の

討しています。

差し当たり

いの廃止などの改善を。学前までの拡大や、窓口払度の充実へ、対象年齢の就度の充実へ、対象年齢の就

介護相談員活動を市民に 介護福祉オンブズマンや

していきます。 ②提言も含めて、

これまでの市答弁は 検討

▲笹目東小学校

育の可能性を高 通常学級での教

> 福祉部長 子育て支援施策

知らせて

の相談員が活動している。護福祉オンブズマンと14名 戸田市には3名の介

動を展開していただきたい

大変重要な制度と認識して 乳幼児医療費助成は

②シンポジウムなどの開催 がるのではないか。 サービスの質の向上につ 知ってもらうことが、 ームページでの公表

を行ってはどうか

ます。しかるべき時期に公現在活動内容をまとめてい ①公表を念頭に

て改善を要望していきます県や国へは、機会を捉る

機会を捉え

取り扱いが違うのには疑問 ださい。各自治体によって くか、真剣に検討させてく います。どういう方向で行

を感じます

市が責任を持ち、活発な活ねが質の向上につながる。 議員 細かな活動の積み重 調査研究 な 護

考えるシンホシウム

もっと活動内容を 介

▲オンブズマンを考えるシンポジウム(札幌市のホームページより)

\*1 LD(学習障害)=全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読むなどのうち、特定のものの習得などに困難を示す状態。 \*2 ADHD(注意欠陥/多動性障害)=精神年齢に比して不適当な注意力障害、衝動性、多動性を示す行動障害。